

つかさ会 会報

Vol. 41
2009. 9 月発行
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

朝晩は涼しくなって、過ごし易くなってきましたね。いま事務局では、11月の段取りに追われています。11月12日の夜に市民公開講座として糖尿病セミナーを開催しますし、15日に例年のウォークラリーを予定しております。《秋のつかさ会講演会》の日程と場所が未定ですが、来月にはまとめて連絡申し上げます。

今年も糖尿病週間に岐阜城がブルーライトアップされます。糖尿病週間のポスターがもう少しで完成すると思いますが、お店などに貼っていただける方があれば、事務局まで連絡をお願いします。

今月号の『さかえ』では、最近の話題トップになっている“新型インフルエンザ”の記事に注目です。「感染症と糖尿病(P8)」に書いてありますが、糖尿病の患者さんであっても血糖管理がきちんに行われている人は一般の人と大きな差はありません。一部の報道では、糖尿病であれば重症化するような誤解を受けますが、もちろん誤解です。もしもインフルエンザにかかったら…シックデイの対策をとっていただければ問題なしです。結核(P10)でも、腱鞘炎(P32)でも、糖尿病であることが悪いわけではありません。糖尿病患者さんのなかで血糖コントロールが悪い方が発症しやすく長引きやすいに過ぎないのです。ただし、治療においては“ステロイド”を使用されると血糖値が急激に悪化することがあるので要注意です。“ステロイド”は、五十肩の注射、腰痛の注射、喘息の注射や内服薬(吸入薬は影響ありません)、花粉症の注射や一部の内服薬、湿疹の塗り薬などにも入っています。“ステロイド”がいけないのではなくて、量と投与期間が問題なのです。主治医と相談の上であれば安全に使用できますよ。

今月の「読者のひろば(P16)」は旅行に関してですね。準備して行けば国内はもちろん海外旅行も全く問題ありません。登山でもスポーツでもなんでも出来ます。体験談を読んでどんどんチャレンジしてみましよう！

「もしものために備えてますか(P38)」では、通常の防災グッズに加えて糖尿病関連の必要物品を3日間は持ち出しができるようにしておいた方がよいと思います。インスリンを打っている方は、いつも使っている一式をそのまま持って行けるようにポーチとかにまとめておくと便利かもしれませんね。

「くすりのはなし(P20)」は難し過ぎます。興味がある方は是非どうぞ。興味がない方は、いろいろな作用の薬があって患者さんの状態に応じて我々糖尿病専門医が工夫して選んでいることをなんとなく感じていただければ充分です。

さて秋ですね。日常生活の活動量を増やす(P25)ことから始めましょうか。